

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	whale			
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日 ～ 令和7年11月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年12月17日 ～ 令和7年12月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育を1対1で取り組んでいること。 ひとり一人に合わせた支援内容を制作している。	小学6年生で終了できるように、各児童に合わせた療育内容で取り組んでいる。 毎回違う職員が個別療育を担当することで、全職員がその児童の進み具合を共有するようにしている。	左記の内容で今後も対応する。
2	集団療育で「運動」「認知」を各15分前後取り組んでいること。	児童が自分の特性に気付き、苦手なことを改善し伸ばせるような内容にしている。 週ごとにプログラムを変え、児童が楽しんで取り組めるように工夫している。	左記の内容で今後も対応する。
3	第2土曜日に「製菓」第3土曜日に「調理」に取り組んでいること。	児童が楽しみながらできることを増やし、自己肯定感を向上できるように取り組んでいる。 食器洗いなど後片付けも児童が行い、自立できるように取り組んでいる。	左記の内容で今後も対応する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時間が重なる場合は、新規の利用を受けることが難しいことがある。	個別療育、集団療育の時間の関係上、片道10分以上の送迎場所は難しいこと。	自宅迎えとすることにより、時間の調整ができるようにしている。
2			
3			